

平崎真弓 & ロレンツォ・ギエルミ

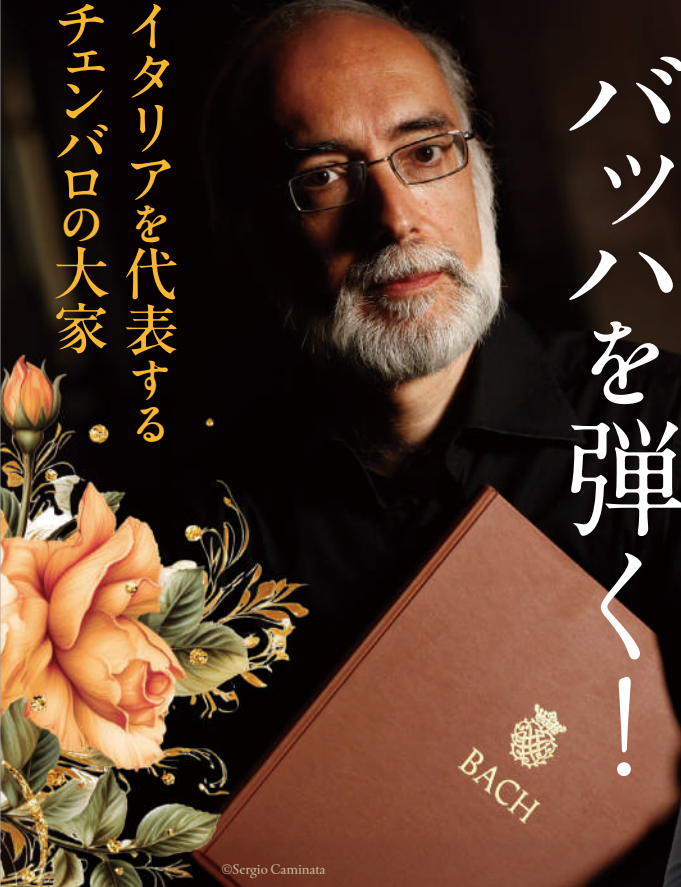
バロック・ヴァイオリン

チェンバロ

ドイツ三大古楽オーケストラの
コンサートマスター

最高峰の バッハを弾く!

イタリアを代表する
チェンバロの大家



オール・バッハ・プログラム

- ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ
ト長調 BWV1021
Sonata in G major for Violin and Basso continuo BWV 1021
- ヴァイオリンと通奏低音のためのフーガ
ト短調 BWV1026
Fuge in G minor for Violin and Basso continuo BWV 1026
- ヴァイオリンとチェンバロのための6つのソナタより 第4番
ハ短調 BWV 1017
Sonata No.4 in C minor BWV 1017, from Six Sonatas for Violin and Harpsichord
- ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ
ホ短調 BWV1023
Sonata in E minor for Violin and Basso continuo BWV 1023
- ヴァイオリンとチェンバロのための6つのソナタより 第6番
ト長調 BWV 1019
Sonata No.6 in G major BWV 1019, from Six Sonatas for Violin and Harpsichord

2024. **5/26 (日)** 2:00PM開演 (1:30PM開場)
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 **1/21 (日)**

芸術文化センター チケットオフィス

インターネット予約 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

☎0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

芸術文化センター会員先行予約受付開始 **1/19 (金)** ※窓口での販売 (残席がある場合)は1/23(火)より

※未就学児はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

Early Music Series
古楽の愉しみ

兵庫県立芸術文化センター



主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

華麗なる古楽デュオ

バロックの息吹を現代にあらわす、最高峰のデュオ

ドイツの三大古楽オーケストラ＝コンチェルト・ケルン、フライブルク・バロック・オーケストラ、ベルリン古楽アカデミーの全てでコンサートマスターを務める稀有な存在、平崎真弓。日本を、いや、いまや世界を代表するバロック・ヴァイオリン奏者といって過言ではない。気品がありつつも躍動的、過剰ではないのに随所にはっとさせられる技が光る…そんな演奏で、過去に当センターでも聴衆の感嘆を誘ってきた。

一方のロレンツォ・ギエルミは古楽界で当代随一の地位を築いて久しい、チェンバロとオルガンの大家。溢れる知性と深い洞察に富んだ演奏は、「名匠」とはこういう人か!と鮮烈な印象を与える。

その両者により2022年に行われたデュオ・リサイタルでは、バロックの深奥に迫る完璧な演奏で、満席の聴衆を魅了した。

今回はバッハ! 2曲が演奏される「6つのソナタ」は、ヴァイオリンと鍵盤楽器のためのソナタにおいて、当時バッハがチェンバロに重要な役割を与えた独自のスタイルを確立し、後の時代のヴァイオリン・ソナタにも影響を与えた重要な作品。一方のヴァイオリンと通奏低音のための楽曲は、より即興的で自由な二人の掛け合いが聴きどころだ。同じ「ソナタ」でも少し違った魅力のある名曲たちだが、いずれもその音世界はどこまでも壮大で神々しい。この二人の演奏でなら、さらにそれは比類ないものとなるだろう。いまこそ、究極のバロック体験を。



(2022年の公演より)

東京藝術大学よりドイツ・ニュルンベルク音楽大学に留学。2006年、第15回J.S. バッハ国際コンクール(ライブツィビ)においてモダン・ヴァイオリンで第2位。2008年マイスター試験に合格。同年ブルージュ国際古楽コンクール、バロック・ヴァイオリン部門第3位。ソリストとしての活動のほか、2011年よりコンチェルト・ケルン、さらに近年はフライブルク・バロック・オーケストラ、ベルリン古楽アカデミーのコンサートマスターとしても活躍。CDはドイツ・グラモフォンでカルミニョーラ、パッサカイユ・レーベルでギエルミ等と共演。2017年よりザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学バロック・ヴァイオリン科教授。コンチェルト・ケルンとのCD「ビゼンデル」が権威あるオーパス・クラシック賞2023コンチェルト録音部門を受賞。ケルン在住。



©Harald Hoffmann



イタリアを代表するオルガニスト、チェンバリスト、指揮者で、ルネサンスとバロック音楽の研究家。現在、ミラノの聖シプリリアーノ教会オルガニスト。ミラノ国際音楽アカデミー古楽研究所で教鞭を執っているほか、世界中の著名なオルガン・コンクールの審査員、またマスタークラスの講師を務める。パーゼル・スコラ・カントールム元教授。イタリアの古楽アンサンブル、イル・ジャルディーノ・アルモニコの初期メンバー。2005年に、自身の古楽アンサンブル「ラ・デイヴィナ・アルモニコ」を結成。ヘンデルのオルガン協奏曲第1集、第2集(両方ともディアパゾン賞受賞)などの録音のほか、数多くのCDをリリース。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガンの芸術コンサルタントを務めた様子は、2004年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。

ヘンデルのオルガン協奏曲第1集、第2集(両方ともディアパゾン賞受賞)などの録音のほか、数多くのCDをリリース。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガンの芸術コンサルタントを務めた様子は、2004年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

